

教科(科目)	美術	総時数	45時間	学年(コース)	1学年
使用教科書	美術1(光村図書)				
副教材等	秀学社『美術資料』				

## 1 学習の目標

美術の基本的な力、考え方を身に付ける。

## 2 指導の重点

- ①観察して描く時の要点を身につけさせる。
- ②アイデアをまとめ、形にする過程を学ばせる。
- ③色彩の理論を知る。

## 3 学習計画

月	単元名	教材	学習内容(指導内容)	時間	評価方法
4	観察して描く	スケッチブック、鉛筆	鉛筆の削り方、使い方 手のデッサン	3	作品提出
5	観察して描く	水彩絵の具	水彩絵の具の使い方、三原色の混色。	4	作品提出
6	観察して描く	水彩絵の具	水彩絵の具で植物を描く。好きなものを描く。	6	作品提出
7	色の冒険	水彩絵の具	色を使って自由に模様を作る。	3	作品提出
8					
9	気持ちを伝えるデザイン	ハサミ、カッター	刃物の使い方。	4	作品提出
10	気持ちを伝えるデザイン	ハサミ、カッター、ケント紙、色紙	飛び出すカードを作る。基本的な仕掛けの作り方。	5	作品提出
11	気持ちを伝えるデザイン	ハサミ、カッター、ケント紙、色紙	飛び出すカードを作る。自分の発想を生かして、飛び出すカードを制作する。	5	作品提出
12	気持ちを伝えるデザイン	ハサミ、カッター、ケント紙、色紙	飛び出すカードを作る。自分の発想を生かして、飛び出すカードを制作する。	4	作品提出
1	色の世界	スケッチブック	色彩の理論、三原色、補色などを学ぶ	3	作品提出
2	色の世界	スケッチブック	色彩の理論、三原色、補色などを学ぶ	5	小テスト

月	単元名	教材	学習内容(指導内容)	時間	評価方法
3	色の世界	スケッチブック	色彩の理論に関するテスト。	3	小テスト

計 45 時間(50 分授業)

#### 4 課題・提出物等

・手のデッサン ・水彩 ・飛び出すカード

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り込む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な材料、道具の扱い方、ができる。</li> <li>・形、色など造形要素を的確に観察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察力と画材の扱いを結び付け、形にすることができる。</li> <li>制作にあたって、自分のアイデアを出し、材料の特性を考えて作っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>描く対象のものに向き合い、丁寧に見ようとしている。</li> <li>制作のテーマを理解し、向き合っている。</li> </ul>
<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品</li> <li>・取り組み方</li> <li>・提出物の内容</li> </ul> <p>などから、総合的に評価します。</p>		

#### 6 担当者からの一言

一年生は、まず美術の基礎的な力である観察力を身につけることからスタートします。また、もう一つの力、自分のアイデア、発想を生かした制作もしていきます。授業の 50 分という時間は制作をするには短い時間ですが、  
集中して取り組んでください。(担当 安田洋)